

地方創生施策評価シート（B）

具体的な施策	交流人口の増大に対応する受け入れ体制の強化	No.	3	①	1	具体的な施策	交流人口の増大に対応する受け入れ体制の強化	No.	3	①	1			
事業名 古民家での交流を活用した観光振興 評価点等 必要性 効率性 達成度 総合評価 今後の方向性 4 4 4 B 現状維持 当面の課題 観光の形態がツアーなどの観光旅行から少人数での体験型・交流型のニューツーリズムへと変化してきている。来訪者のニーズの多様化や交流人口の増加に対応する受け入れ体制を強化するため、観光ボランティアガイドの養成講座を行っている。 課題解決のための改善計画 年々増加している海外からの観光客等に対し、対応が可能な人材の確保を促進するため、養成講座の受講者に語学の堪能な人材も募集している。また、活力のあるシニア世代の知識と能力を活かし、来訪者との交流による観光振興と地域の活性化を図る。 担当課長の総括意見 海外からの観光客等に的確な対応ができる人材を確保し育成していく。また養成講座等を通じ、市民の地域資源への関心を高め、観光客の受け入れ体制やおもてなし体制を強化していく。	事業名		古民家での交流を活用した観光振興		担当課	観光商工課	指標名		観光ボランティア登録数				目標値	
	評価点等		必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度
			4	4	4	B	現状維持	人	43人	30人	48人	46人	46人	54人(累計)
	指標名						シルバー人材センター登録者数				目標値			
	KPI実績値		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度					
		人	250人	240人	242人	227人		250人						
事業名 シニア世代の能力を活かした魅力ある地域づくり 評価点等 必要性 効率性 達成度 総合評価 今後の方向性 5 4 4 A 現状維持 当面の課題 今後増えてくるシルバー世代の登録者の増加を図るとともに利用者のニーズにあったきめ細やかな受託事業の充実が必要。 課題解決のための改善計画 働きがいのあるシルバー世代層をさらに充実させるため、会員登録数の増加を図ることはもちろんのこと、働き方改革等によりシルバー世代層の働き方の考え方が多様化しているため、県のやまなしシニア世代就労推進協議会とも連携し、シニア世代の就労の充実を図っていくこととする。 担当課長の総括意見 シルバー世代に対して働きがいのある体制の構築が今後ますます必要となってくる。企業への就職を希望する方、ボランティア的な就業を希望する方などシルバー世代の多様な働き方に対応していくことが必要。	事業名		シニア世代の能力を活かした魅力ある地域づくり		担当課	観光商工課	指標名		当該年度の評価・課題等					
	評価点等		必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	本年度のKPIについては、どちらの指標ともに伸び悩み未達成であった。各事業の課題については、古民家での交流を活用した観光振興では、来訪者のニーズの多様化や交流人口の増加に対応する受け入れ体制を強化するための、観光ボランティアガイドの養成が課題となっている。シニア世代の能力を活かした魅力ある地域づくりでは、今後増えてくるシルバー世代の登録者の増加を図るとともに利用者のニーズにあったきめ細やかな受託事業の充実が必要。今後、増加するシルバー世代の登録者の増加を図るとともに、利用者のニーズにあったきめ細やかな受託事業の充実が必要となっている。						
	当面の課題													
	課題解決のための改善計画													
	担当課長の総括意見													
事業名 評価点等 必要性 効率性 達成度 総合評価 今後の方向性 当面の課題 課題解決のための改善計画 担当課長の総括意見	事業名				担当課		指標名		計画の方向性					
	評価点等		必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	古民家での交流を活用した観光振興については、海外からの観光客等に的確な対応ができる人材を確保し育成していくとともに、養成講座等を通じ、市民の地域資源への関心を高め、観光客の受け入れ体制やおもてなし体制を強化していく。また、活力のあるシニア世代の知識と能力を活かし、来訪者との交流による観光振興と地域の活性化を図っていく。シニア世代の能力を活かした魅力ある地域づくりについては、シルバー世代層の会員登録数の増加を図ることはもちろんのこと、働き方改革等によりシルバー世代層の働き方の考え方が多様化しているため、県のやまなしシニア世代就労推進協議会とも連携し、シニア世代の就労の充実を図っていくこととする。						
	当面の課題													
	課題解決のための改善計画													
	担当課長の総括意見													
事業名 評価点等 必要性 効率性 達成度 総合評価 今後の方向性 当面の課題 課題解決のための改善計画 担当課長の総括意見	事業名				担当課		施策内事業評価の平均値							
	評価点等		必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性	必要性	4.5					
	当面の課題						効率性	4.0						
	課題解決のための改善計画						達成度	4.0						
	担当課長の総括意見						総合評価	B						

地方創生施策評価シート（B）

具体的な施策	甲州市の特色を活かした教育の実施					No.	3 - ② - 1					具体的な施策	甲州市の特色を活かした教育の実施					No.	3 - ② - 1				
事業名	教育環境づくりプロジェクト事業					担当課	教育総務課					指標名	全国学力・学習状況調査における平均正答率割合					目標値					
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性							KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度				
	5	5	4	A	現状維持								向上	向上している	向上している	向上している	向上している	向上している	向上				
当面の課題	甲州市学校教育指導重点をもとに、プロジェクトの取り組みを進めていく。取り組みは、知・徳・体のバランスのよい育成に留意し、①「授業づくり、授業改善」②「学級づくり、集団づくり」③「保護者、地域住民等との連携」の3つに視点をあて具体的な取り組みを進めていきたい。										指標名						目標値						
課題解決のための改善計画	学力プロジェクトの各事業と各校の校内研究会等との関わりを大切に。①校内研の中に、学力プロジェクトの取り組みを位置づけ、プロジェクトと有機的な関連を図る。②各校においては、学力プロジェクトの3つの部会の取り組みを生かした校内研究を展開する。また、全国学力・学習状況調査やQU調査の結果を活用した指導改善を行う。										KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度					
担当課長の総括意見	これからの知識基盤社会を担っていく甲州市の小・中学校の児童生徒に、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、児童生徒の確かな学力の定着・向上を図ることを今後も継続して推進していきたい。										指標名						目標値						
担当課長の総括意見											KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度					
事業名	教育情報化支援員派遣事業					担当課	教育総務課					当該年度の評価・課題等											
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性							KPIの指標について再検討が必要と思われる。 各事業の課題については、教育環境づくりプロジェクト事業では、甲州市学校教育指導重点をもとに、プロジェクトの取り組みを進めていく必要がある。教育情報化支援員派遣事業では、①先進的ICT環境整備による、個に応じた学力向上への授業、②21世紀型能力の育成を視野に入れた小規模校ならではの授業、③学校連携ネットワークの構築及び交流事業の計画・実施・複数学校合同の同期型CSCL(Computer Supported Collaborative Learning)授業の開発が必要である。英語指導助手派遣事業では、2020年4月に全面実施される「外国語における新学習指導要領」に伴い、小学校英語の教科化に向けて、平成30年度からは移行期間となった。2020年4月全面実施に備え、早期に外国語活動、外国語科の授業時間数への対応が必要不可欠である。											
当面の課題	5	5	4	A	現状維持																		
課題解決のための改善計画	・先進的ICT環境整備による、個に応じた学力向上への授業 ・21世紀型能力の育成を視野に入れた小規模校ならではの授業 ・学校連携ネットワークの構築及び交流事業の計画・実施・複数学校合同の同期型CSCL(Computer Supported Collaborative Learning)授業の開発																						
担当課長の総括意見	先進的ICT環境を整備することにより、地域活性化の取り組み、学校連携ネットワークの構築及び交流、複数学校合同の同期型CSCL授業の開発など、実現可能であろう状況に焦点をあてた取り組みを実現していきたい。																						
担当課長の総括意見																							
事業名	英語指導助手派遣事業					担当課	教育総務課					計画の方向性											
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性							教育環境づくりプロジェクト事業については、学力プロジェクトの各事業と各校の校内研究会等との関わりを大切に、全国学力・学習状況調査やQU調査の結果を活用した指導改善を行う。これからの知識基盤社会を担っていく甲州市の小・中学校の児童生徒に、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、児童生徒の確かな学力の定着・向上を図ることを今後も継続して推進していく。教育情報化支援員派遣事業については、現在、小規模校や複式学級設置校では、同学年が少ないことから多様な思考に触れられる授業の実施が難しいというデメリットを抱えている。しかし、小規模校における児童の人数をメリットとして捉え、タブレット等のICTを効果的に用いた視覚的理解を生み出す体験型授業の展開や漢字や計算などアプリを利用して反復練習を行う機会などを多く設定し、児童生徒一人ひとりにきめ細やかな指導を行うことができる授業モデルを作成する。英語指導助手派遣事業については、「新学習指導要領」の導入による移行期間に伴い、小学校外国語活動(小学校1～4年生)及び外国語科(小学校5～6年生)の授業時間増に向け、ALTの適切な配置や増員を行うことにより、2020年4月に全面実施される「新学習指導要領」への対応が可能となる。また、ALTとの交流を通じ、英語力を身につけさせるとともに、文化知識等の向上も図る中、グローバル化に対応した教育環境づくりを推進していく。											
当面の課題	5	5	5	A	拡大・充実																		
課題解決のための改善計画	令和2年4月に全面実施される「外国語における新学習指導要領」に伴い、小学校英語の教科化に向けて、平成30年度からは移行期間となった。令和2年4月全面実施に備え、早期に外国語活動、外国語科の授業時間数への対応が必要不可欠である。(H31.4～小学校1・2年:年間11時間、小学校3・4年:年間15時間、小学校5・6年生:年間50時間 R2.4～小学校1・2年:年間11時間、小学校3・4年:年間35時間、小学校5・6年生:年間70時間)																						
担当課長の総括意見	平成30年度は、英語指導助手7人(塩山地区:小学校3人、中学校2人、勝沼・大和地区:小学校1人、中学校1人、計7人)を配置しているが、令和4年に全面実施される「新学習指導要領」に備え、今後、小学生の授業が大幅に増加するため、平成30年度からの3年計画で3人のALTの増員をしていく。(3人採用した場合の配置予定 塩山地区:小学校4人、中学校2人、勝沼・大和地区:小学校2人、中学校1人、計9人)																						
担当課長の総括意見	「新学習指導要領」の導入による移行期間に伴い、小学校外国語活動(小学校1～4年生)及び外国語科(小学校5～6年生)の授業時間増に向け、ALTの適切な配置や増員を行うことにより、令和2年4月に全面実施される「新学習指導要領」への対応が可能となる。また、ALTとの交流を通じ、英語力を身につけさせるとともに、文化知識等の向上も図る中、グローバル化に対応した教育環境づくりを推進していく。																						
事業名						担当課						施策内事業評価の平均値											
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性						必要性	5.0											
当面の課題											効率性	5.0											
課題解決のための改善計画											達成度	4.3											
担当課長の総括意見											総合評価	A											

地方創生施策評価シート（B）

具体的な施策	地域を支える人々とのふれあい				No.	3	②	1	2	具体的な施策	地域を支える人々とのふれあい						No.	3	②	1	2							
事業名	学校支援地域本部事業				担当課		教育総務課			指標名	学校へのボランティア派遣割合						目標値											
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性			KPI実績値		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度											
		5	5	4	A	現状維持					向上	向上している	向上(3,497人)	向上(3,693人)	向上(3,708人)	向上している	向上											
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの高齢化と人材発掘。 ・学校のニーズと学校支援ボランティアの調整。 ・学校のニーズの多様化による各種ボランティアの確保。 ・中学校との連携強化と事業数の増加に伴う対応。 									指標名							目標値										
	課題解決のための改善計画	学校支援ボランティア実行委員会及び各中学校区地域教育協議会は、小中学校校長、PTA会長、区長、公民館長、育成会会長、老人クラブ会長等各地域の代表者で構成されているため、各会を通じて地域ボランティアの確保や調整を更に強化し、現在行っている事業を継続して推進していく。また、児童・生徒と教員と地域が一体となって交流できる環境を整えていきたい。									KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度										
担当課長の総括意見	地域の人材を学校支援ボランティアとして活用するための支援体制を構築し、教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を図り、児童、生徒の健全育成と教育環境の整備をさらに推進していきたい。								指標名							目標値												
KPI実績値	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成31年度																					
事業名					担当課		観光商工課			当該年度の評価・課題等																		
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性			KPIの設定について検討が必要と思われる。 課題としては、①学校支援ボランティアの高齢化と人材発掘、②学校のニーズと学校支援ボランティアの調整、③学校のニーズの多様化による各種ボランティアの確保、④中学校との連携強化と事業数の増加に伴う対応、があげられる。																			
		当面の課題																										
	課題解決のための改善計画																											
	担当課長の総括意見																											
計画の方向性																												
事業名					担当課					計画の方向性																		
事業名					担当課					地域の人材を学校支援ボランティアとして活用するための支援体制を構築し、教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を図り、児童、生徒の健全育成と教育環境の整備をさらに推進していく。																		
	評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性																						
当面の課題																												
課題解決のための改善計画																												
担当課長の総括意見																												
事業名					担当課					施策内事業評価の平均値																		
事業名					担当課					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">必要性</td> <td style="text-align: center; font-size: 1.2em;">5.0</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td style="text-align: center; font-size: 1.2em;">5.0</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td style="text-align: center; font-size: 1.2em;">4.0</td> </tr> <tr> <td>総合評価</td> <td style="text-align: center; font-size: 1.2em;">A</td> </tr> </table>											必要性	5.0	効率性	5.0	達成度	4.0	総合評価	A
	必要性	5.0																										
効率性	5.0																											
達成度	4.0																											
総合評価	A																											
評価点等	必要性	効率性	達成度	総合評価	今後の方向性																							
	当面の課題																											
課題解決のための改善計画																												
担当課長の総括意見																												

